

（４）温泉ブロック（松山市、東温市）

～産地づくり～

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たな産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○新たな中晩柑類のトップブランド産地づくり

1 愛媛県試第48号（紅プリンセス）

【取組】

- ① 越年品種であるため、温暖な無霜園地での導入を推進
- ② 安定生産技術の確立を図るため、生理障害（日焼け・す上がり等）の軽減対策技術を実証（4か所）
- ③ 魅力ある中晩柑産地づくり会議の開催（5月、3月）

【成果】

- ① 栽培面積：36ha〔R5：30.1ha〕
- ② 主枝の誘引による直立樹形の改善が、す上がり発生率の軽減に効果的であることを確認（誘引区の発生率：6%、対照区：17%）〔図1〕
- ③ 魅力ある中晩柑産地づくり会議において、調査ほの設置や実証内容等を協議するとともに実証結果を共有（5/31、3/17）〔図2〕

2 甘平

【取組】

- ① 裂果軽減対策のため、土壌水分に着目した多量かん水や水分保持方法等について検討するとともに、かん水量とかん水範囲を調整した実証ほを設置（2か所）〔図3〕
- ② 隔年結果軽減対策のため、半樹別と大枝別の摘果について、実証ほを設置（2か所）

【成果】

- ① 多量かん水により裂果率が低下（試験区：59%、対照区：81%）
- ② 実証ほにおいて摘果時間の短縮と隔年結果の軽減を確認（半樹別摘果区のある摘果時間は39%減、着果量R5年比：102%）

3 品種共通（高品質安定生産技術の確立）

【取組】

- ① 大玉安定生産を目指した樹体管理を推進するため、土づくりの啓発や電動バサミ等による剪定等の効率化技術を実証
- ② 急傾斜柑橘園地でドローンを使った施肥を実演（6/25）〔図4〕

【成果】

- ①
 - ・ 電動バサミ使用で剪定時間は最大約30%の削減できることを把握（4/12）
 - ・ 127点の土壌分析診断により土壌環境を把握し、その結果を基に、土づくり等について指導（2～3月）〔図5〕
- ② 収量・品質は同等で、省力化（軽労働、作業時間の短縮）を確認（6/25）



〔図1〕主枝の誘引



〔図2〕産地づくり会議



〔図3〕土壌水分改善実証



〔図4〕ドローンによる施肥の実演



〔図5〕土づくり指導

4 樹園地基盤整備

【取組】

- ① 中予地区柑橘農業復興・再編ワーキングチーム会議の開催（7月、3月）
- ② 電動運搬台車やラジコン草刈機の実演会を開催し、基盤整備園でのスマート農業を推進
- ③ 土壌浸食対策として緑肥栽培等による土づくりを推進
- ④ 苗木の早期育成支援

【成果】

- ① 各再編整備地区の事業進捗の確認と関係者間での情報共有（7/9）
- ② 36人の農家がスマート技術を体験し、有効性を認識（7/9）[図6]
- ③ 緑肥栽培の実証ほを設置し、土壌浸食や腐植等を調査、土壌浸食防止や腐植増加の効果を確認（5～2月）[図7]
- ④ バイオスティミュラント（BS）※ 資材の施用により、苗木の樹冠拡大率が対照区に比べ、最大1.5倍良好（4月～10月）

※植物や土壌により良い生理状態をもたらす様々な物質や微生物



[図6] スマート農機実演会



[図7] 緑肥栽培実証ほ

○「はだか麦」と「水稻」の高品質生産の推進

1 はだか麦

【取組】

- ・高品質安定生産を目指し、生育予測情報等の提供や個別巡回等による適期作業の励行を推進

【成果】

- ・はだか麦の栽培面積：249ha
〔R5：260ha、R4：258ha、R3：346ha〕
収 穫 量：656 t
〔R5：789t、R4：643t、R3：1,273t〕

2 水稻

【取組】

- ① 県オリジナル品種「ひめの凜」の高品質安定生産のため、生育予測情報や適期作業を励行し栽培面積の拡大を推進 [図8]
- ② 水田の水管理の水位センサーや自動開閉式給水ゲートを設置しスマート農業の導入を推進

【成果】

- ① 「ひめの凜」の栽培面積：30ha
〔R5：30ha、R4：22ha、R3：19ha〕
栽培戸数：38戸
〔R5：43戸、R4：36戸、R3：23戸〕
- ② 水位センサー等を東温市拝志地区に設置したところ、水位調整機能は概ね正常に作動し、労働時間で約5割の削減を確認 [図9]



[図8] ひめの凜栽培講習会



[図9] 自動開閉式給水ゲート



[図10] 天敵マニュアルを活用した指導

○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

1 なす（果菜類）

【取組】

- ①
 - ・なすを中心に他の果菜類にも天敵利用技術を普及するとともに、土着天敵（タバコカスミカメ等）を利用した露地なす実証ほを設置し、土着天敵の有効性を検討
 - ・天敵マニュアルを活用した個別巡回指導の実施 [図10]
- ② 新規栽培者の掘起こしを目的に、現地講習会等の開催
(9/2、12/26、1/23) [図11]

【成果】

- ①
 - ・天敵導入者・面積：30人・約2.3ha〔R5：24人・1.79ha〕
（内訳：なす25人、きゅうり3人、トマト2人）
 - ・施設トマト、きゅうり等でも土着天敵の有効性を確認。
- ② 新規栽培者7人を確保〔R5：新規7人〕



[図11] なすの現地講習会

○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

2 さといも

【取組】

- ① 「愛媛農試V2号（伊予美人）」の産地化に向け、栽培技術指導の実施、冬季防寒対策の普及
- ② 土入れや防除等の労働力軽減のため、スマート農機の導入を推進

〔図12〕

【成果】

- ①
 - ・栽培者の省力化技術が浸透するとともに、栽培面積が13.6haに増加〔R5：11.3ha、R4：7.3ha、R3：3.5ha〕
 - ・規模拡大農家（50a以上）が3人に増加〔R5：2人〕
- ② スマート農機実演会に参加した農業者1人が、PTO出力付きハイクリアランス仕様乗用管理機を導入

3 いちご（果菜類）

【取組】

- ① 環境制御技術勉強会（8/8、10/3、12/6、2/5）及び県内視察研修の実施（2/28）〔図13〕
- ② スマート農業技術（環境モニタリング等）を導入し、生育データ及び環境データの蓄積と、環境データ等を活用できる生産者を育成

【成果】

- ① 環境制御技術に関心のある若手生産者15人を確保
- ② 低コスト環境計測機器を製作・導入〔図14〕するとともに、新規に環境モニタリング機器を3台導入（いちご2台、トマト1台）し、環境データ等を活用した適切な温度管理が可能に。

4 パクチー

【取組】

- ① 栽培環境に適応した周年安定生産技術を実証
- ② 生産者や関係機関との対策会議を開催し、生産拡大や新規栽培者の確保に加え、販促・PR活動等について協議（7/3、3/7）
- ③ 都内企業や主な出荷先である大阪市中心卸売市場でのPR活動やアンケート調査を実施

【成果】

- ① 標高別の初夏～秋播き作型技術を確立し、周年栽培マニュアルを作成するとともに、対策会議等で配布して技術を周知
- ② 新規栽培者6人確保し、栽培者数は21人
〔R5：17人、R4：13人、R3：11人〕
- ③
 - ・都内企業の社員食堂での愛媛フェアにて、中予産パクチーを使用したメニュー（2料理）を提供し、好評（8/14、8/28）
 - ・市場関係者にパクチーかき揚げうどん（150食）を提供し、高評価を得た〔図15〕一方、夏季生産の増量と周年安定出荷の要望を確認（9/13）

5 花き・花木

【取組】

- ① 「さくらひめ」の需要期出荷に向けた夏季自家育苗技術の実証並びに適時出荷体制を確立するため、市場等との検討会やPR活動を実施
- ②
 - ・「ユーカリ」の産地拡大に向けた協議を実施
 - ・新規品種の地域適応性の実証試験と試験出荷を実施〔図16〕

【成果】

- ①
 - ・実証ほを5か所設置、種苗コストの低減を確認（約70%減）
 - ・市場関係者等と出荷時期や市場動向等について把握（7/26、12/5、2/27）、フジグラン松山でのPR活動実施（1/25）〔図17〕
- ②
 - ・新規品種の地域適応性と試験出荷を勘案し計3種を選定
 - ・「ユーカリ・グニー」栽培面積：17.2ha
〔R5：15.5ha、R4：13.8ha、R3：13.5ha〕



〔図12〕 土入れ作業機実演



〔図13〕 環境制御技術勉強会



〔図14〕 製作した低コスト
環境計測機器



〔図15〕 大阪での試食PR



〔図16〕 ユーカリの実証試験



〔図17〕 さくらひめのPR活動

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

○地域の農業・農村を支える多様な担い手の確保・育成

【取組】

- ① 就農希望者に対する就農相談を実施（常時）
- ② 新規就農者に対して栽培技術等の情報提供や青年等就農計画・資金計画等の策定を支援 [図18]
- ③ 就農後のフォローアップによる定着促進と、経営改善計画策定を支援 [図19]
- ④ 若手女性農業者の資質向上と活躍促進のため、組織活動を通じて農業経営者としての実践的技術や知識の向上、交流の場を創出

【成果】

- ① 就農相談件数：41件 [R5：57件]
- ②
 - ・新規就農者数※：11人 [R5：21人、R4：15人、R3：17人] ※40歳未満
 - ・青年等就農計画の認定：9人 [R5：19人]
 - ・新規就農者育成総合対策
 - 経営開始資金・経営発展支援事業：11人 [R5：18人]
 - 就農準備資金：5人 [R5：12人]
- ③ 認定新規就農者から認定農業者へ移行：11人 [R5：5人]
- ④ かんきつ栽培講習会や先進事例研修等により、女性農業者の技術や知識が向上するとともに、組織が活性化 [図20]



【図18】重点指導対象への栽培指導



【図19】新規就農者と先輩農業者との交流会

○農業の働き方改革の推進

1 有償ボランティア制度の導入支援

【取組】

- ① 中予地域のかんきつ栽培の労働力確保のため、有償ボランティア「愛媛お手伝いプロジェクト」の導入を推進
- ② 農家向け説明会を開催（8/29） [図21]

【成果】

- ① かんきつ栽培が盛んな松山市の島しょ部や北部地域をモデル地域として、ボランティアを受け入れることで関係者と合意
- ② 5戸の農家が利用し、伊予柑の収穫作業等に延べ136人のボランティアが参加

2 農福連携の推進

【取組】

- ① 労働力が不足している農業者と農業生産活動に関心のある就労継続支援施設のマッチングを推進
- ② JAを窓口とした農作業受委託システムの運用を推進

【成果】

- ① マッチング数：2事例（内容：せとかの袋がけ） [図22]
- ② 受託システムに登録した施設数：17施設
[R5：15施設、R4：13施設、R3：4施設]

3 家族経営協定の推進

【取組】

- ・農業経営に携わる家族が意欲とやりがいをもって経営に参画できるよう家族経営協定の締結を推進

【成果】

- ・新規協定締結数：4件 [R5：7件]
- ・新規就農者を中心に協定締結の機運が向上



【図20】農業女子の先進事例研修



【図21】農家へお手伝いプロジェクトの説明



【図22】せとかの袋がけ作業

○住民の連携促進による地域活性化

1 鳥獣害対策

【取組】

- ① 実証地区を設置し、被害防止対策を重点的に指導し、技術実証と効果を確認
- ② 関係機関との連携や鳥獣管理専門員への活動支援等を通じ、鳥獣被害への総合的な対策を管内全域へ拡大

【成果】

- ① モデル集落の松山市門田集落大室地区で、侵入防止柵のメンテナンス等の技術習熟度向上を支援し、イノシシの侵入を防止[図23]
- ②
 - ・管内の猟友会各支部へのアンケート調査により課題を抽出し、問題点を鳥獣害防止対策協議会等で共有し、今後の課題を明確化[図24]
 - ・鳥獣管理専門員を1人確保

2 6次産業化、地産地消の推進

【取組】

- ① 愛媛6次産業化サポートセンターと連携し、農産物を活用した新たな商品開発や販路拡大を支援
- ② 都市と農村の交流人口拡大を図るため、地域資源を活用した取組みを推進
- ③ 農家女性組織による地域農産物を活用した食育を推進

【成果】

- ① 「6次産業化チャレンジ総合支援事業」採択件数：2件
- ② 農林漁家民宿数：3件
- ③ 食文化普及講座を3回（11/28、2/8、2/15）開催し、郷土食文化への理解と農産物活用方法等を継承 [図25]



【図23】モデル集落で補強を実施した侵入防止柵



【図24】猟友会へのアンケート



【図25】食文化普及講座の開催

～農地再編整備によるブランド産地力拡大と担い手への集積・集約の加速化～

○樹園地の再編整備の推進

【取組】

- ① 農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用した樹園地の再編整備を実施：6地区
 - 松山市 下難波地区、浅海原地区、由良地区、堀江地区、中島地区、泊地区
- ② 畑地かんがい施設の更新整備を実施：1地区
(松山市 石手川北部地区)

【成果】

- ① 樹園地の再編整備工事完了：6.8ha [図26]
(下難波：2.2ha、浅海原：3.2ha、由良：0.8ha、堀江：0.6ha)
- ② 畑地かんがい施設 揚水機更新：1箇所（工場製作中）



【図26】樹園地再編整備の施工状況（下難波地区）



【図27】水田ほ場整備の施工状況（南吉井地区）



【図28】農業用ため池の老朽化対策施工状況（夏目古池）

○水田の再編整備と基幹水利施設やため池の改修整備の推進

【取組】

- ① 農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した水田のほ場整備：1地区（東温市 南吉井地区）
- ② 基幹水利施設の整備：1地区（東温市 佐古地区）
- ③ 農業用ため池の老朽化対策、耐震対策：13地区
(松山市大城地区 他12地区)

【成果】

- ① 水田のほ場整備完了：3.0ha [図27]
- ② 基幹水利施設（パイプライン）整備完了：L=1.0km
- ③ 農業用ため池の老朽化対策完了：2か所（夏目古池、泉池） [図28]